

教育研究評議会議事要録

日時 平成18年 4月11日(火) 13:30~15:15

場所 事務局大会議室

出席評議員 遠藤(学長・議長), 須藤, 加藤, 三浦, 石堂, 四宮, 佐藤(三), 齋藤, 佐藤(敬), 對馬, 木田, 南條, 宮田, 荒川, 保嶋, 丹野, 矢島, 内山, 佐々木(大), 真下, 吉田, 市川, 諏訪田の各評議員

役員等陪席者 藁科理事, 安倍監事

監査室陪席者 平岡室長

事務局陪席者 渡邊総務部長, 及川財務部長, 三浦総務課長, 松井教務課長, 藤原入試課長他

配付資料

資料	(当日配付)	役員等一覧
資料	(当日配付)	教育研究評議会評議員名簿
資料1	(当日配付)	人事苦情処理室室員名簿
資料2	(当日配付)	様式(1)
資料3	(当日配付)	平成18年度予算実施計画
資料4	(当日配付)	平成17年度戦略的経費決定一覧
資料5	(当日配付)	平成17年度学内活性化事業実施報告
資料6	(当日配付)	平成18年度弘前大学入学者選抜個別学力検査実施結果
資料7	(当日配付)	弘前大学キャンパスマスタープラン
資料8	(当日配付)	21世紀教育センター運営委員会報告要旨
資料9	(当日配付)	教育・学生委員会(第23回)議事要録(案) 平成18年度「特色ある大学教育支援プログラム」申請書 平成18年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」申請書
資料10	(当日配付)	国立大学法人弘前大学公益通報処理規程

- ◎ 会議に先立ち学長から, 4月1日付けで就任した新理事, 新監事, 新評議員及び新監査室長の紹介があり, 新理事等からの挨拶並びに出席評議員及び陪席者の自己紹介があった。
続いて, 3月14日開催の教育研究評議会の議事要録(案)の確認が行われ, 承認された。

審議事項

審議1 人事苦情処理室室員の推薦について

平成18年3月31日付けで定年退職した福村前教育学部事務長の後任者選考について, 管理運営規則第110条第2項第2号の規定により, 本評議会の推薦に基づき学長が任命することになっている旨説明があり, 推薦者を募ったが得られなかったため, 学長から佐藤正彦教育学部事務長を推薦したい旨発言があり, 審議の結果, 教育研究評議会が推薦する教員以外の職員として了承された。

報告事項

報告1 平成18年度年度計画について

学長から, 平成18年度の年度計画は昨年から役員会等で検討し, 各学部と数回にわたる

協議を経て取りまとめられ、3月27日開催の役員会で承認を得て、3月31日付けで文部科学省に提出した旨、報告があった。

また、平成17年度実績報告については、各学部等に資料の提出等をお願いし、作成中である旨、報告があった。

報告2 教員人事について

(1) 教員の採用・昇任

佐藤医学部長及び保嶋副病院長から資料1に基づき、下記教員の採用、承認について報告があった。

医学部医学科	鈴木保之（同学部講師）	助教授昇任（18.4.1付け）
	石橋恭之（附属病院講師）	助教授昇任（18.4.1付け）
医学部附属病院	青木昌彦（同附属病院講師）	助教授昇任（18.4.1付け）
	津田英一（医学部助手）	講師昇任（18.4.1付け）
	横山 徹（同附属病院助手）	講師昇任（18.4.1付け）
	中村吉秀（医学部助手）	講師昇任（18.4.1付け）

報告3 平成18年度予算実施計画について

財務部長から、資料3の平成18年度予算実施計画は2月に各学部等からヒアリングを実施し、3月22日開催の経営協議会及び3月27日開催の役員会で審議の上承認された後、3月29日説明会を実施し、3月31日付けで各学部等へ通知したものであること、また、予算実施計画の概要に基づき、配分予算の増減のあった主な事項について説明があった。

報告4 平成17年度戦略的経費について

財務部長から、各学部から9区分118件840,000千円の申請があったこと、事業の選定に当たっては関係理事により全学の戦略に相応しいものであることとしたこと、また、第1次分については36件201,008千円を各部局に7月14日付けで通知した、その後第2次分から第6次分を配分して総額49件225,133千円となったこと、また経費の使用については7月17日までに報告書の提出をお願いする旨、報告があった。

また、平成18年度については早期に執行するため各担当理事をお願いすることとし、区分は5区分とし現在役員会で事項設定の作業を進めている旨、報告があった。

報告5 平成17年度学内活性化事業推進経費について

財務部長から、資料5に基づき、次のとおり報告があった。

平成16年度からの繰越額が61,803千円、平成17年度受入額56,973千円、平成17年度支出額31,490千円、従って、平成18年度への繰越額は87,286千円となっている。平成17年度の支出内訳は、医学科の研究機器購入に係る経費24,990千円、保健学科の実習・実験授業に必要な器具・備品購入に係る経費6,500千円である。なお、平成18年度の支出事業については役員会等で審議する。

報告6 平成18年度弘前大学入学者選抜個別学力検査実施結果について

須藤理事から、資料6に基づき、本年度の入学者選抜個別学力試験実施結果について、募集人員1,350名に対して入学手続き終了者1,400名、昨年度比15名増ということで無事終了した旨、報告があった。

また、入試課では八戸会場、札幌会場での学力試験の実施結果について、追加資料のデータを分析中であり、次回の教育研究評議会に分析結果を提示する旨、報告があった。

報告7 弘前大学キャンパスマスタープランについて

市川施設環境部長から、資料7に基づいて、文京町マスタープランは中期計画に沿った整

備計画であること及び国立大学施設新5カ年計画を基本にしたものであること、また、施設整備の現状と問題点について報告があり、特に文京町キャンパスを分断する市道のあり方については、弘前市と一体となって検討を進めること、並びにキャンパス整備を実施するための方法として民間資金の活用、寄付等による方法等について理解を深める必要がある旨、報告があった。

引き続き意見交換が行われ、概ね次のような意見が出された。

- ・ 市道について弘前市との話し合いがどの程度進んでいるか教えてもらいたい。
- ・ 本町地区においても医学部と病院の間にある市道が文京町地区と同じく問題となっているが、今回の弘前市との話し合いには本町地区も含まれているのか。
- ・ 市道をキャンパスに組み込んだという類似した事例が徳島大学にあるので、参考になるのではないか。

報告8 委員会報告

(1) 21世紀教育センター運営委員会

矢島センター長から、資料8に基づき、3月28日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

- ア 平成18年度開講計画の変更について
- イ 平成18年度前期開講時の対応について
- ウ 平成14～15年度入学者に対する単位修得方法の特例について
- エ 平成18年度21世紀教育授業運営・担当評価について
- オ 平成18年度戦略的経費の要求について

(2) 教育・学生委員会

須藤理事から、資料9に基づき、3月24日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

また、特色GP及び現代GPの申請が各々2件ずつあり、ヒアリング実施の結果各々1件ずつ申請の予定である旨報告があり、なお、来年度以降、予算を取りに行くためには各学部においてなるべく早期に準備態勢を整えるよう要請があった。

- ア 「授業改善計画書」の提出について
- イ 学生の懲戒処分について
- ウ 弘前大学出版会からのテキスト等の出版について

続いて学長から、真下教授が大学出版部連絡会の代表に選ばれたことの紹介があり、真下教授から代表に選ばれた経緯と大学出版部連絡会（28大学参加）について説明があった。また、真下編集委員長から、教科書出版についてのアンケート実施について協力依頼があった。

(3) 臨時入学試験改善委員会

学長から、3月29日開催の第1回同委員会で弘前大学の入学試験の現状について審議し共通の理解を得たこと、4月10日開催の第2回同委員会では、各学部の大学入試センター試験に対する今後の取組について、及び各高校に対して効率よくPRする方法について審議したこと、また、入学試験の内容についてはセンター試験を課していない推薦入学Iをどのように取り扱うかについて審議した旨、報告があった。

今後、月2回開催し、6月中に案をまとめて提示し、議論を進めていくこととする。

報告9 その他

(1) 国立大学法人弘前大学公益通報処理規程の制定について

総務部長から、資料10に基づき、本学の取組として学長直属の組織として人事苦情処理室を設置するとともに、学長オフィスアワーの実施及び学長直言箱を設置するなど、職員に意見や要望など発言できる機会を提供してきたが、公益通報保護法の制定を受けて、更に、透明性を確保し自浄作用を高め、一層充実した職場環境を整備するため、公益通報処理規程を制定することとしたこと、並びに通報先、通報及び相談の方法、調査、協力義務、是正措

置，及び公益通報者の保護等の制定の概要について説明があった。

(2) 急性アルコール中毒防止のポスターの掲示等について

須藤理事から，急性アルコール中毒防止のポスターの掲示について，桜祭りが終わるまでは是非目立つ場所に掲示すること，また飲ませる側の2年生及び3年生に対してガイダンス等で周知願いたい旨要請があった。

また，学長から，飲酒に関しては学長としても厳しく対応するものであるが，各学部においては厳しく指導願いたい旨，発言があった。

(3) 学位記についての要望

学位記の見開きの片側が空いているので，英文表記のものを作成して付け加えると，より立派な学位記になるので検討願いたい。

(4) 入学式についての要望

入学式の1部（午前）と2部（午後）を年度ごとに学部持ち回りとすることを要望する。

(5) 次回以降の開催予定日について

次のとおり開催することとした。

5月 9日（火） 13：30～

6月13日（火） 13：30～

以 上